

株式会社セーフティーアイランド

2022 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2022年4月～2023年3月)



発行日: 2023年12月5日

改訂日: 2023年12月12日



I. 環境方針

環境経営方針

株式会社セーフティーアイランドは、当社設立前より取り組んできた環境問題の経験を踏まえ、産業廃棄物(アスファルト・コンクリートガラ・混合廃棄物)のリサイクル及び汚染土壌の浄化による天然資源のリサイクルを通じて地域社会の環境に配慮した事業活動を展開し、環境と調和した豊かな社会の実現のために、環境経営を継続的に改善していきます。

1. 環境に安全で責任のある産業廃棄物中間処理及び汚染土壌浄化が、確実に見える工場運営とそれぞれの処理技術の開発・改善に努めます。
2. 天然資源保全のため、環境負荷削減を積極的に進めます。
 - ・ 二酸化炭素排出量の削減(電力、ガソリン、軽油、都市ガス)
 - ・ 一般廃棄物の削減
 - ・ 水使用量の削減
 - ・ リサイクル率の向上
3. 国・自治体が制定した環境関連法規を遵守します。
4. 環境保全のための目標を設定し、これを見直し、環境に悪影響を及ぼす恐れのある事態には、迅速に責任を持って対処します。
5. 全員への環境教育を行い、環境への意識向上に努めます。
6. 顧客に対しても資源のリサイクルに関する啓発活動を積極的に行います。

環境経営方針は、全従業員へ周知し、外部にも公表します。

制定日：2016 年 7月 1日

改定日：2023 年 2月 1日

株式会社 セーフティーアイランド
代表取締役 赤澤 一憲

Ⅱ. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社セーフティーアイランド
代表取締役 赤澤 一憲

(2) 所在地

本 社 〒658-0024 兵庫県神戸市東灘区魚崎浜町16番地7

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

責 任 者 代表取締役 赤澤 一憲
担 当 者 総務課 堂園 てるみ
連 絡 先 TEL:078-412-4477 FAX:078-412-1980

(4) 事業内容

- ①産業廃棄物収集運搬業
- ②産業廃棄物中間処理業
- ③特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ④汚染土壌処理業

(5) 法人設立年月日 : 2001年6月27日

(6) 資本金 : 100百万円

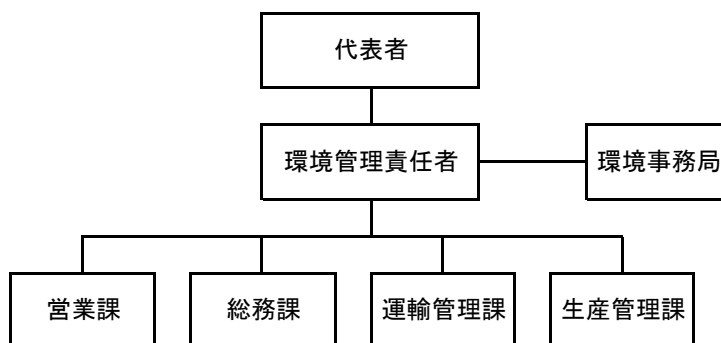
(7) 事業の規模 売上高:2,506百万円
(2022事業年度) 産業廃棄物収集運搬量:30,255t
産業廃棄物中間処理量:272,700t
汚染土壌処理量:73,912t

(8) 従業員数

従業員数	88名
延べ床面積	5,815㎡
敷地面積	16,205㎡

(9) 事業年度 : 4月～翌年3月

(10) 組織図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示の実施 ・環境経営レポートの承認 ・経営の課題とチャンスの整理、明確化
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

(11-1) 許可取得内容
産業廃棄物処分業

(株) セーフティーアイランド
令和5年3月31日 (2023/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可年月日 有効年月日	許可品目 能力	金属 くず	ガラス 類	がれき 類	廃プラ 類	紙くず	木くず	繊維 くず	ゴム くず	鋳さい	汚泥	許 可 範 囲
神戸市 第06920079120号	令和3年10月21日	①破砕 第2013号 1,200t/d	◎	◎	◎						◎	◎	除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
		②破砕 第9908号 5.6t/d				◎						◎	除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
	令和8年9月2日	③破砕 第1039号 20t/d		◎									限石膏ボード、除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
		④選別・破砕 第1020号 1,000m ³ /d	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		除廃プラ破砕、除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
		⑤圧縮 第1048号 20.224t/d				◎	◎		◎				除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
		⑥造粒固化 第1231号 1,760t/d										◎	限無機性汚泥、再生利用限土壤環境基準、除石綿含有産廃、除水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等

(11-2) 許可取得内容
汚染土壌処理業

(株) セーフティーアイランド
令和5年3月31日 (2023/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可年月日 有効年月日	許可品目 能力	カドミウム	六価クロム	シアン	セレン	鉛	砒素	ふっ素	ほう素	許 可 範 囲
神戸市 第12910010002号	令和2年12月28日	①分別等処理施設(異物除去) 30t/h、300t/日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	濃度の上限はなし
	令和7年10月4日	②浄化等処理施設(浄化)(抽出－洗浄処理) 30t/h、300t/日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	濃度の上限はなし
		③分別等処理施設(異物除去) 178t/h、1,780t/日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	濃度の上限はなし

(11-3) 許可取得内容
特別管理産業廃棄物収集運搬業

(株) セーフティーアイランド
令和5年3月31日 (2023/3/31) 現在

許可行政 許可番号	許可年月日 有効年月日	許可品目	感 染 性	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	燃 え 殻	汚 泥	鋳さい	ばいじん	廃石綿	許 可 範 囲
兵庫県 第02853079120号	令和4年11月27日 令和9年11月26日		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え・保管を含まない
大阪府 第02750079120号	平成29年9月30日 令和9年9月29日										◎	積替え・保管を含まない
奈良県 第02950079120号	令和4年10月10日 令和9年10月9日										◎	積替え・保管を含まない
京都府 02650079120	平成30年3月22日 令和10年2月23日			◎	◎	◎					◎	積替え又は保管を含まない
三重県 第02450079120号	令和4年2月1日 令和9年1月31日		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え・保管を除く
福井県 01851079120	令和3年8月10日 令和7年2月4日		◎	◎	◎	◎		◎			◎	積替保管を含まない
富山県 01654079120	令和5年2月25日 令和10年2月24日			◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え・保管を除く 別表のとおり
福岡県 04050079120	平成30年3月20日 令和10年3月19日			◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	積替え、保管を含まない。

(11-4) 許可取得内容

(株) セーフティーアイランド

許可行政 許可番号	許可品目 許可年月日 有効年月日	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	燃 え 殻	廃 プ ラ ス チック	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	動 植 物 性	鉱 さい	ガ ラ ス	が れ き 類	ば い じ ん	1 3 号	許 可 範 囲
神戸市 第06910079120号	令和3年10月27日 令和8年9月12日																◎	◎	積替え・保管を含まない、含水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
兵庫県 第02803079120号	令和3年8月16日 令和8年8月15日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ア	ア			積替え・保管を含む、含水銀使用製品、除水銀含有ばいじん等
大阪府 第02700079120号	令和3年9月4日 令和8年9月3日	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替え・保管を含まない。含石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
京都府 02600079120	令和4年4月28日 令和9年2月25日	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替え又は保管を含まない。含石綿含有。水銀使用製品産業廃棄物、除特管物、水銀含有ばいじん等
和歌山県 第03000079120号	令和4年4月22日 令和9年4月21日	◎	◎	◎	◎		ア	◎	◎	◎	◎	◎			ア	ア			積替え又は保管を含まない。含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等、含石綿含有産業廃棄物
奈良県 第02900079120号	令和4年10月10日 令和9年10月9日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎			ア	ア	◎	◎	積替え保管を含まない。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
滋賀県 第02501079120号	令和5年2月6日 令和10年2月5日	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎			積替えを含まない。石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む
三重県 第02400079120号	平成30年6月1日 令和5年4月13日	◎	◎	◎	◎	◎	PH	◎	◎	◎	◎	H	◎		PH	ア		◎	積替え・保管を除く。石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物を含む、水銀含有ばいじん等を除く
愛知県 第02300079120号	令和3年10月18日 令和8年8月30日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎			ア	ア			積替え、保管を除く。除自動車等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
岐阜県 第02100079120号	令和3年11月10日 令和8年11月9日	ア	H	H	H	ア	ア	ア	ア	ア	ア	H	H	ア	ア	ア	H		積替え、保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
岡山県 第03301079120号	平成31年1月7日 令和6年1月6日	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替え又は保管無。除自動車等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、不含水銀含有ばいじん等
広島県 第03400079120号	令和4年3月26日 令和9年3月25日	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替え・保管は含まない。廃石膏ボード、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等、自動車等破砕物、特管物
福井県 01801079120	令和3年8月10日 令和7年8月30日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎	◎		ア	ア		◎	積替保管を含まない 石綿含有産業廃棄物を含む
石川県 第01707079120号	令和4年7月5日 令和9年7月4日	◎	◎	◎	◎	◎	H	◎	◎	◎	◎	H	◎		H			◎	積替え、保管を除く。除水銀含有ばいじん等、含水銀使用製品産業廃棄物、除自動車等破砕物、除特管物、含石綿含有産業廃棄物
富山県 01604079120	令和5年2月25日 令和10年2月24日	◎	◎	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	積替え・保管を除く。除自動車等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
新潟県 01509079120	令和4年9月12日 令和9年8月28日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎	◎		ア	ア		◎	積替え・保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等
神奈川県 01403079120	令和4年6月23日 令和9年4月30日	◎	◎	◎	◎		PH	◎	◎	◎	◎	H	◎		PH	ア		◎	積替・保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物
千葉県 第01200079120号	令和3年12月2日 令和8年10月18日	◎	◎	◎	◎	◎	PH	◎	◎	◎	◎	H	◎		PH	ア		◎	積替・保管を除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物除自動車等破砕物、除特別管理産業廃棄物
栃木県 00900079120	令和4年10月22日 令和9年10月21日	◎	◎	◎	◎	◎	PH	◎	◎	◎	◎	H	◎		PH	ア		◎	積替えを除く。含石綿含有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばいじん等

注 ア：石綿含有産業廃棄物を含む、H：水銀使用製品産業廃棄物を含む

許可行政 許可番号	許可品目 許可年月日 有効年月日	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	燃 え 殻	廃 プ ラ ス チック	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	動 植 物 性	鋳 さ い	ガ ラ ス	が れ き 類	ば い じ ん	1 3 号	許 可 範 囲
岩手県 00300079120	令和元年11月14日 令和6年11月13日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え・保管を含むもの無 含石綿含有及び水銀使用製品。除自動車 破砕物及び特管物
宮城県 00400079120	平成30年8月7日 令和10年8月6日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え又は保管行為を除く。含石綿含 有産業廃棄物、含水銀使用製品産業廃 棄物、除水銀含有ばいじん等、除自動車 破砕物
福島県 第00707079120号	令和2年11月5日 令和7年2月4日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替え及び保管行為を含まない。含石 綿含有及び水銀使用製品、除自動車破 砕物及び水銀含有ばいじん及び特管物
香川県 03709079120	令和3年2月1日 令和7年10月31日	◎	◎	◎	◎	◎	ア	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ア	ア	◎		積替え又は保管を含まず。不含有自動車 等破砕物、含石綿含有産業廃棄物、含 水銀使用製品産業廃棄物、不含有水銀含 有ばいじん等
徳島県 03600079120	平成30年12月21日 令和5年12月20日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		積替えなし。不含有自動車等破砕物及び 水銀含有ばいじん等、含石綿含有産業 廃棄物及び水銀使用製品産業廃棄物。
福岡県 04000079120	令和5年2月7日 令和10年2月6日	◎	◎	◎	◎	◎	PH	◎	◎	◎	◎	H	◎	◎	PH	ア	◎		積替え、保管を含まない。除自動車破 砕物、含石綿含有産業廃棄物、含水銀 使用製品産業廃棄物、除水銀含有ばい じん等

注 ア：石綿含有産業廃棄物を含む、H：水銀使用製品産業廃棄物を含む

(12) 施設等の状況

■ 産業廃棄物収集運搬用車両

車種	最大積載量	台数
4tアームロール車	4,000kg	9台
10tアームロール車	10,000kg	2台
3tユニック車	3,000kg	2台
4tユニック車	4,000kg	1台
ベッセル車	10,000kg	1台
ダンプトレーラー	20,000kg	1台

■ 積替え保管施設

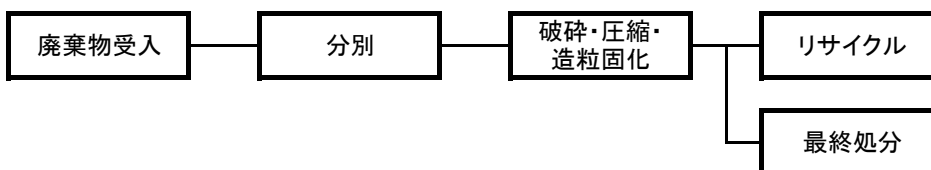
保管面積	保管上限	積替え保管を行う廃棄物の種類
100m ² (コンテナ利用)	88m ³	廃プラスチック類
200m ²	186.4m ³	汚泥・燃え殻・廃油・廃酸・廃アルカリ 動物性残渣

■ 産業廃棄物処分用施設

中間処理施設

施設の種類の種類	選別・破碎・圧縮・造粒固化施設
処理する廃棄物の種類	汚泥・廃プラスチック類・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず 陶磁器くず・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず 鋳さい・がれき類
破碎施設	汚泥・金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器 鋳さい・がれき類
破碎施設	廃プラスチック類・汚泥
破碎施設	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (石膏ボードに限る)
破碎施設	金属くず・ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 鋳さい・がれき類
圧縮施設	廃プラスチック類・紙くず・繊維くず
造粒固化施設	汚泥
処理方式	破碎・圧縮方式

(処理工程図)

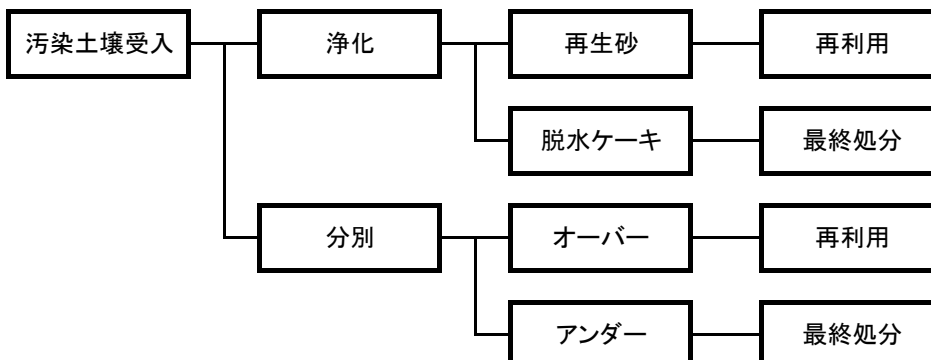


■ 汚染土壌処理施設

浄化等処理施設(浄化)(抽出・洗浄処理)

分別等処理施設(異物除去)

(処理工程図)



(13) 産業廃棄物処理実績

(2022年 4月 ～2023年3月)

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i)収集運搬		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず		1,485
		がれき類		9,838
		汚泥		4,309
		金属くず		36
		鋳さい		1,648
		紙くず		29
		廃プラスチック類		795
		木くず		1,257
		建設系混合廃棄物		10,857
収集運搬量合計				30,255
(ii)中間処理		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎、選別・破碎	3,001
		がれき類	破碎	166,549
		汚泥	破碎	55,071
		金属くず	選別・破碎	45
		鋳さい	破碎	28,423
		紙くず	選別・破碎	72
		廃プラスチック類	選別・破碎	1,394
		木くず	選別・破碎	1,494
		建設系混合廃棄物	選別・破碎	16,652
	うち 再資源化等		がれき類	
		汚泥		27,929
		鋳さい		28,423
		金属くず		45
		紙くず		72
再資源化等量小計			223,018	
中間処理合計				272,700
(iii)最終処分				
最終処分量合計				0
(iv)中間 処理後の 産業廃棄物	最終処分	建設系混合廃棄物	管理型埋立(委託)	21,178
	再資源化等	廃プラスチック類		295
		木くず		1,759
		建設系混合廃棄物		331
		廃石膏ボード		1,357
		汚泥		27,142
再資源化等量小計			30,884	
中間処理後処分量合計				52,061

Ⅲ. 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名	株式会社セーフティーアイランド
対象事業所	本社
活動	①産業廃棄物収集運搬業
	②産業廃棄物中間処理業
	③汚染土壌処理業

Ⅳ. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2	19,996,313	1,768,956	1,059,105	1,108,980	1,285,897
電力使用量	kWh	1,305,545	1,155,850	758,226	706,023	542,448
ガソリン使用量	L	17,369	12,856	6,145	3,854	4,031
軽油使用量	L	520,429	462,141	261,483	292,405	393,424
都市ガス	Nm ³	17,391	17,165	16,595	15,869	10,320
一般廃棄物排出量	kg	792	756	768	780	1,205
水道水使用量	m ³	3,946	3,462	4,418	3,629	2,603
井戸水使用量	m ³	44,987	33,982	30,704	33,364	24,878

※PRTR指定化学物質は使用していない。

※一般廃棄物排出量：2021年度は事務所2Fのみだが、2022年度は会社全体の実績

Ⅴ. 環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目	年度	基準値 2016年度	2020年度 目標	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	2,175,978	2,088,939	2,067,181	2,045,421	2,023,661
	対基準(%)	100	(△4%)	(△5%)	(△6%)	(△7%)
①電力使用量削減	kWh	1,350,304	1,296,292	1,282,789	1,269,286	1,255,783
	kg-CO2	595,484	571,665	565,710	559,755	553,800
	対基準(%)	100	(△4%)	(△5%)	(△6%)	(△7%)
②ガソリン使用量削減	L	16,660	15,993	15,827	15,660	15,494
	kg-CO2	38,650	37,104	36,719	36,332	35,946
	対基準(%)	100	(△4%)	(△5%)	(△6%)	(△7%)
③軽油使用量削減	L	584,027	560,666	554,826	548,985	543,145
	kg-CO2	1,506,789	1,446,517	1,431,450	1,416,382	1,401,314
	対基準(%)	100	(△4%)	(△5%)	(△6%)	(△7%)
④都市ガス使用量削減	Nm ³	16,229	15,580	15,418	15,255	15,093
	kg-CO2	35,055	33,652	33,302	32,951	32,601
	対基準(%)	100	(△4%)	(△5%)	(△6%)	(△7%)
II. 廃棄物排出量の削減	kg	800	776	768	760	752
①一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△3%)	(△4%)	(△5%)	(△6%)
III. 水道水使用量の削減	m ³	4,704	4,515	4,469	4,422	4,375
	基準年比	100	(△4%)	(△5%)	(△6%)	(△7%)
VI. 環境配慮	km/L	4.3	4.5	4.5	4.5	4.5
①受託した産業廃棄物の 収集運搬における環境配慮 (収集運搬車の燃費向上)	対基準		(+0.2)	(+0.2)	(+0.2)	(+0.2)
②受託した産業廃棄物中間処理 における環境配慮 (リサイクル率の向上)	リサイクル率	0.54	0.56	0.56	0.56	0.56
	対基準	—	(+0.02)	(+0.02)	(+0.02)	(+0.02)

※電力による二酸化炭素排出量は、東京電力エナジーパートナー(株)の2020年度の二酸化炭素排出係数(調整後)

0.441kg-CO2/kWh を用いて算出した。

(2) 2022年の実績

項目	年度	基準値	2022年度 目標	2022年度 実績	達成率	判定
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO2	2,175,978	2,045,421	1,285,897	159%	○
	対基準(%)	100	(△6%)	(△41%)		
①電力使用量削減	kWh	1,350,304	1,269,286	542,448	234%	○
	kg-CO2	595,484	559,755	239,220		
	対基準(%)	100	(△6%)	(△60%)		
②ガソリン使用量削減	L	16,660	15,660	4,031	388%	○
	kg-CO2	38,650	36,332	9,352		
	対基準(%)	100	(△6%)	(△76%)		
③軽油使用量削減	L	584,027	548,985	393,424	140%	○
	kg-CO2	1,506,789	1,416,382	1,015,034		
	対基準(%)	100	(△6%)	(△33%)		
④都市ガス使用量削減	Nm ³	16,229	15,255	10,320	148%	○
	kg-CO2	35,055	32,951	22,291		
	対基準(%)	100	(△6%)	(△36%)		
II. 廃棄物排出量の削減	kg	800	760	1,205	63%	×
①一般廃棄物の削減	対基準(%)	100	(△5%)	(+51%)		
III. 水道水使用量の削減	m ³	4,704	4,422	2,603	170%	○
	基準年比	100	(△6%)	(△45%)		
VI. 環境配慮	km/L	4.3	4.5	3.6	80%	×
①受託した産業廃棄物の 収集運搬における環境配慮 (収集運搬車の燃費向上)	対基準		0.2	△0.7		
②受託した産業廃棄物中間処理 における環境配慮 (混合廃棄物等のリサイクル率 向上)	リサイクル率	0.54	0.56	0.19 (5.138t/26.387t)	34%	×
	対基準	—	0.02	(△0.35)		

100%以上: ○、95~100%未満: △、95%未満: ×

達成率の算定式: 削減目標の達成率=目標÷実績×100%、向上目標の達成率=実績÷目標×100%、

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取組計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量総量の削減		
・下記の通り	◎	
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・不要照明の消灯	◎	生産設備の稼働が減少したため、大幅に電力量が減少した。次年度も引き続き削減活動を実施する。
・OA機器の省エネモード設定	◎	
・生産設備の電力をデマンド計による監視	◎	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)		
・アイドリングストップ	◎	社有車の使用方法の見直しを行い大幅に使用料を削減できた。次年度は、低燃費を心掛けた運転技術の習得を目指す。
・効率的なルートでの営業活動	○	
・急加速の抑制	○	
・車両整備、点検の確実な実行	◎	
自動車・重機燃料による二酸化炭素排出量の削減(軽油)		
・アイドリングストップ	○	重機のアイドリングストップを意識して無駄な軽油消費をしないように心がけた。さらに検討して推進して行きたい。
・急加速の抑制	○	
・効率的、計画的な収集運搬	○	
都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減		
・空調温度の適正化(冷房26℃ 暖房20℃)	△	クールビズの導入・空調温度の適正化、無駄使いを防止し引き続き取り組んでいきたい。
・給湯器使用時に無駄使いをしない	○	
一般廃棄物の削減		
・コピー用紙の両面使用	△	今期より全社を対象として集計したため、見かけ上増えている。次年度は、削減を目指す。
・飲み物の容器の分別	○	
産業廃棄物の削減(リサイクル率の向上)		
・工程ロスの削減	△	新プラントの稼働もあり達成となった。
・分別の徹底による有価物化	○	
水道水使用量の削減		
・地下水の使用	◎	地下水を優先して使用している。次年度も取組を継続する。
・手洗い水量の適正化	◎	
収集運搬における環境配慮		
・アイドリングストップ	○	短距離の走行が増えたため、燃費が下がったが、効率的、計画的な収集運搬を心がけた。次年度も継続して取り組む。
・急加速の抑制	○	
・効率的、計画的な収集運搬	○	
中間処理における環境配慮		
・工程ロスの削減	△	分別の徹底による有価物化を心がけた。引き続き分別の徹底を推進して行きたい。
・分別の徹底による有価物化	○	

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守すべき要求事項(施設・物質・事業活動等)	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物処理業の営業許可・更新、受入廃棄物の分別・保管・適正処分	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検、記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
消防法	消防計画の作成、消火設備・火災報知器の点検整備・指定可燃物の扱い	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟、或いは環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

・不安定な欧州情勢の長期化に因り懸念していた各種経済的負担の増加、並びに機械類の納期遅れが顕在化し一部のリニューアル工事は約半年遅れとなったが着工には至り大勢に影響はない。

・この間、EA21を機軸とした環境管理委員会の運用サイクルは初期段階として定着し特に次の三点を評価している。

- ①法令遵守点検の仕組の確立
- ②工場全域での定期環境パトロールの実践
- ③課別プログラムの運用

1.次年度は設備リニューアルが更に進むので新たな環境側面を踏まえPDCAを確実にを行い自浄作用のある組織にしたい。

2.都市ガスの削減を含むエネルギー管理も、今後、測定環境の整備に加え、本格運用が為されるので、必要な管理項目と使用者に対する「判断基準の設定」等を準備検討すること。

3.リサイクル率の未達については、グループ全体のコンプライアンス並びに物流の側面から自社ではコントロールし難い部分であるが、まずは「最適ルート等の把握」を明確にして頂き、将来に向けてはリサイクル方法等の研究・開発が必要と考えている。

4.中期経営計画において、次年度は、2024年度リニューアル工事完了を見据えた準備の期間と位置付けているため、委員はじめ全従事者は「運用強化」「仕組づくり」に注力して頂きたい。そのためには、環境管理委員会等の機会と場を活用することに加え、部署長を中心とした連絡連携の強化、情報の見える化と共有が基本になるので大小のPDCAを確実に運用してもらいたい。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—

2023年12月5日

代表取締役 赤澤 一憲